

はっぴょうシート「地球のためにできる
こと」 (Check Your Steps 2)

() 組 なまえ _____

領域・形態・時間	話すこと [発表] 2時間 (1時間目＝えらぶ・書く・れんしゅう／2時間目＝はっぴょう)
ねらい	Unit 4～6で言えるようになった文で、地球のためにできることを3～4文で提案する。

やり方 この流れでやってみよう

- 1

Choose one problem.

とりあげる問題を1つ決める (海のごみ・森・生きもの・食べもの)
- 2

Choose your sentences.

ことばバンクから使う文に✓
- 3

Write your speech.

台本の () をうめる
- 4

Practice twice.

2回れんしゅう (記ろくらんに書く)
- 5

Make a proposal.

はっぴょう。絵やポスターを見せながら提案する

ことばバンク ぜんぶ、もう習った文 (右は出てきた単元)

✓	言える文	出てきた単元
☐	() live in () .	Unit 6
☐	() is a big problem.	Unit 6
☐	We can () .	Unit 6
☐	It's from () .	Unit 5
☐	You can see () .	Unit 4
☐	Let's () .	Unit 6

わたしの台本 「知っていること → 問題 → できること」の3文

はじめ	Hello! Look at this. _____
①知っている こと	_____ _____
②問題	_____ _____
③できること	_____ _____
おわり	Let's do it together. Thank you! _____

れんしゅうの記ろく 発表の前に2回。1回目とちがうところが、のびたところ

れんしゅう	きいてくれた人	1つだけよかったと言われたこと
1回目		
2回目		

きく人のことば : Wow! / Nice! / Really? (あいづち) / Me, too! (わたしも) / さいごにしつもんを1つ → What can we do?

ルール

①問題は1つ ②できることは、教室や家ですぐできることを1つ ③きく人はさいごに What can we do? をきく

☆レベルアップ! できることを2つに増やす。理由を足したい人は、習った文をもう1回言えばそれが理由になる (because はまだ使わない)。

先生へ (運用のコツ・中間指導)

- ・2時間の流れ: 1時間目 = 問題を決める(5分) → 選ぶ(10分) → 台本(15分) → 練習(10分)。2時間目 = グループ発表(20分) → 全体(15分) → 振り返り(5分)。理科・社会や総合で扱った内容とつなぐと、英語の時間に調べ直さずに済む
- ・見取りは「習った文で、問題とできることをつなげたか」。a=3文を続け、質問にも答えた / b=2~3文言えた / c=絵を指して単語で伝えた (→一緒に指して We can を1文だけ)
- ・所見に使える一言: 「生き物のすみかと環境の問題を結びつけ、We can で自分たちにできることを提案することができました」「聞き手の What can we do? に、その場でもう1つ提案を返していました」
- ・配慮: 家庭での取り組み (買い物のしかた・持ち物・車の有無) には触れない。できることは「教室でできること」にそろえると、家庭の状況が話題にならない